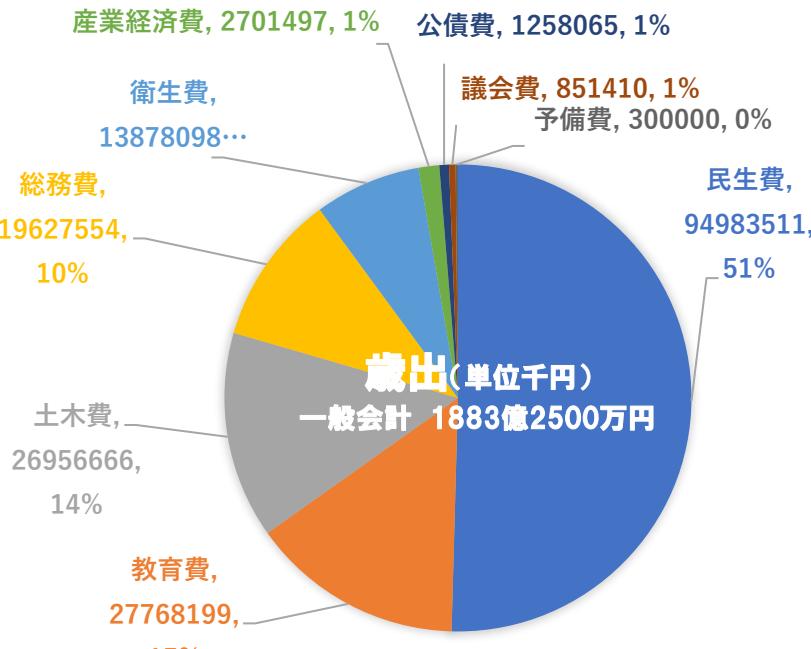
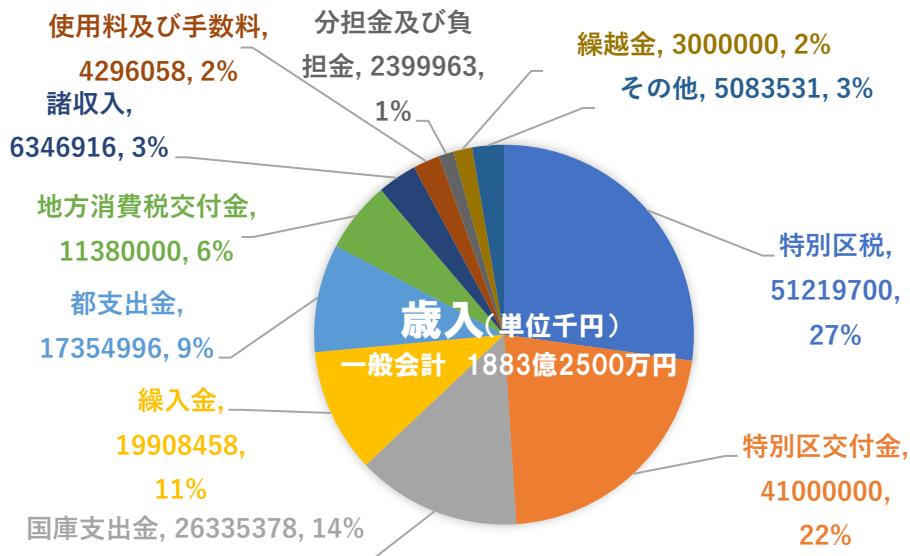


令和2年度予算案が可決 過去最高の1883億円を計上

品川区議会議員

國議會国民党 あらた こじは新新聞

令和2年3月27日（金）16号



民生費	ex 保育園の運営や支援、高齢者・障害者の施設整備等
教育費	ex一貫教育の推進、ICT教育、学校の改築等
土木費	ex道路や公園の整備、不燃化プロジェクト、住宅支援
総務費	ex町会・自治会の活動支援、東京2020大会関連事業
衛生費	ex各種がん検診、ごみ回収、リサイクル
産業経済費	ex中小企業・商店街活性化支援、就業支援
公債費	ex学校施設整備費用の償還
議会費	ex議会運営

3月3日から8日間わたって、予算特別委員会が行われました。私も毎日10分～15分の時間を頂きまして質問に立ちました。委員会で賛成多数で可決されたのち、3月27日の定例会本会議にて賛成多数で可決されました。ここで、歳出のそれぞれの費用のイメージがつきづらいと思ひますので簡単に左記の通り具体例を提示します。

区政活動等をアップしています。Facebook Twitterで「こしば新」と検索してみてください。

あさりのバコロフ
ノーリツハ

きゅりあんが令和3年
度の下半期から約1年
を通じまして、館内の
内装工事に入ります。
(ヤマダ電機は除
く。)かねてから東大
井に住む方々から、早
朝の通勤時間帯は、工
レベーラーが使えず、
階段を使わなければ駅
に行けないという声を
伺つてました。とくに
高齢の方や疾患を抱え
た方には、体への負担
が重いです。そこで館
内のバリアフリーを進
めていくべきことを促
しました。

また館内の移動がやや
こしいので、(例えば
駅側のエレベーターに
乗った場合の6階への
アクセスが不便など)
改善を要望しました。
区の答弁では、必ずし
も満足のいく回答を得
ることは難しかったの
ですが、今後も引き続
き、住みやすい品川区
のために、大井町駅周
辺のバリアフリー化に
向けて地域の声を届け
てまいります。

防犯カメラ設置の補助

二日目
歳入

外國人觀光客誘致事業

三日目 総務費

卷之三

四日目 民生費

かん対策の普及

五日目

井戸の活用

六
木
•
附



ヘルプマークの普及
ヘルプカードとヘルプマークがござります。いづれも体に障害をお持ちの方、配慮を求める方々が身に着ける力があります。このカードがたくても求めづらい方々が年次予算で大きく計上されました。必要とされる人には、体の負担が軽減された機能的なカードとなりました。バッグにくくりつけるようにしたとのことです。またマークについては、区内の駅だけでなく、区内施設にも普及してもらいたい旨を要望しました。

中小企業の経営支援　中国発コロナの感染予防による垂みが街の商店を中心におこなわれています。地域の飲食店も前年度比4割を下がったり、休業に追い込まれたお店もあります。品川区では500万円を上限とした融資のあっせんを支援しています。その相談件数を聞きましたところ、3月10日時点でおおよそ100件の相談があり、業種は飲食店、宿泊事業者とのことです。引き続き中小企業への支援をお願いしました。この経営支援について、今後も補正予算に関わってきますので隨時ご報告致します。

聴覚障害の理解促進
手話言語条例を通じて、
聴覚障害への理解を促進してもらいたいことで
を昨秋の決算委員会で
要望しました。その後
の進捗状況を区に問い合わせ
ました。区の方では、
期待できる答弁をいた
だきました。今後も聴
覚障害の方々が社会生
活に参画できるように、
条例の制定に向けて取
り組んでいきます。

がん対策の普及
昨年秋の決算特別委員会で口腔がん検診への支援を要望していましたので、その進捗を問い合わせたところ、来年度予算において、区の歯科医師会への支援を増額することで、間接的な支援に結び付けることができました。また、胃がんの検診で内視鏡検査など新たに検査項目を増やした今年度の取り組みについて質問しました。今後も早期発見、早期治療に向けた区政府の取り組みを促しました。

井戸の活用 私が住む大井にも路地に入ると、今は使われていない井戸があります。この井戸が4年前の熊本地震では大活躍したのです。そこで、品川区にある井戸を災害時に、防災井戸として、地域に住む方の生活用水を供給できるようにしてもらいたいことを要望しました。東京23区でもすでに10区が井戸を防災井戸として登録しています。杉並区では、ハザードマップに井戸の場所を表示していくます。災害が起き、断水になれば、多くの方が避難所に行き、井戸から生活用水を受け取ります。しかし、これでは、避難所から遠い人、足腰の悪い方には体の負担が大きすぎます。そこで、地元の方から、ぜひこの井戸を使つべきとのご意見を受けていましたで、このたび質問と要望を出しました。区の回答はこれまで専ら研究していくだけとの回答でしたが、今回は井戸の重要性を把握しているとの回答を得ました。今後は実際に井戸を活用して、見聞を広めていくことで、見聞を広めています。品川区が井戸の活用に取り組んでもらうよ活動していきます。